



三丸希ヨーチン

三丸希ヨーチン

* 2014年10月改訂(第6版)

日本標準商品分類番号
872612

外用殺菌消毒剤

三丸希ヨーチン

貯 法：
気密容器

承認番号	13000KUZ01548000
薬価収載	未収載
販売開始	1955年 12月
再評価結果	1983年 4月

第4類・アルコール類・水溶性・危険等級Ⅱ・火気厳禁

製造販売元

三丸希ヨーチン株式会社

仙台市青葉区芋沢字大竹新田 8-1
お客様相談室 TEL(022)394-3031

【禁忌(次の患者には使用しないこと)】
ヨード過敏症の患者

【組 成】

本剤100mL中 ヨウ素3g及び添加物としてヨウ化カリウム、エタノール、メタノールを含有する。

【性 状】

本剤は暗赤褐色の液で、特異なおいがある。

【効能・効果】

皮膚表面の一般消毒、創傷・潰瘍の殺菌・消毒

【用法・用量】

本剤をそのまま又は2~5倍に希釈し、1日2~3回患部及び皮膚に適量塗布する。

***【使用上の注意】**

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	ヨード疹等
皮 膚 ^{注)}	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

血漿たん白結合ヨード(PBI)及び甲状腺放射性ヨード摂取率の検査値に影響を及ぼすことがある。

3. 適用上の注意

- 投与経路:外用にのみ使用し、内服しないこと。
- 使用時:
 - 眼に入らないように注意すること。入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
 - 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。
 - 深い創傷に使用する場合は希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
 - 同一部位に反復使用した場合には、表皮の剥離を伴う急性の皮膚炎を起こすことがあるので注意すること。
 - 本剤は引火性、爆発性があるため、火気には十分注意すること。

【取扱上の注意】

配合変化:マーキュロクロム液とは沈澱を生じる。

製造番号

使用期限



キャップ: PP
ボトル: PE
ラベル: PP
500mL